

# 「家がいいね」 第116号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2014.1.6

幸せは何処から来るのだろうか

往く年を篝火で送り、  
息災を願う気持ちで餅  
を焼く大晦日の光景で  
す。寒さはこれからで  
すが、冬至を過ぎ確実に  
に陽は長くなります。

「皆が苦しい人々の荷  
を少しずつでも分かち  
持つ気持ちを失わず、助け合い、励まし合ってい  
くとともに、世界の人々とも相携え、平和を求め、  
良き未来を築くために力を尽くしましょう」と、  
呼びかける方がいます。



「人間の生存」より  
「経済の発展」を優位  
に置いてきた日本の主  
流に、この方は牽制球  
を投げられます。日本  
の良心の象徴とも言っているのではと思います。



## 良心の象徴

患ひの元知れずして  
病みをりし人らの苦しみいかにかりなりし  
被災地の冬の暮らしはいかならむ  
陽の暖かき東京にゐて  
その方を支える方も折れそうぞ芯の強い女性です。  
左手（ゆんで）なるピアノの音色耳朶にありて  
灯ともしそめし町を帰りぬ

## 心通わすために

動物には言葉が通  
じませんが、人同様  
相手を深く案じれば、  
必ず心は通うと思え  
る時が来ます。

あの方々は、まず  
人に問いかけ聴こう  
とされる、それも強  
く意識されています。



## 在宅とは？再確認

お金で命は延ばせる  
かもしれない。だが  
それは超高齢でいびつ  
な死の形で終わる結果  
に思えます。高度医療  
が誰にも等しく幸せを  
もたらすとは、私には思えません。医療に見放さ  
れたと考えるだけで、人生を諦めるような逆立ち  
した考え方は根本的な間違いのような気がします。  
幸せは、まだ足りないと思われ探し求めるものではな  
く、手元に残っている大事なものを、今あるものの  
再確認なのではないでしょうか。その上で、何か  
不安に思うことがあれば、私達のクリニックに相  
談電話をしてください。必要な介護や医療のネッ  
トワークに、相談から結び付くことも可能です。



長年の医療の使い方で、病院もクリニックも通  
う事（急ぐ時は救急車）という往きの流れだけが  
すぐ連想されますが、工夫し家に招く迎への流れ  
も着実に在ると、ぜひ想い描いてくださいね。

## 永六輔さんの講演会！

よりよく生きるヒント

1月19日(日)午後1時

ハートプラザみその 無料

南勢志摩ケアマネ協会主催

永さんはこの9月27日  
まで、46年間「永六輔の  
誰かどこかで」のラジオ  
番組を1万2629回も続  
けられました。同じ人での  
最長寿番組です。遠藤泰子  
さんは、永さんがパーキン  
ソン病で不調時も傍らで支えた方です。お二人の  
掛け合いが素晴らしい。講演をお世話いただいた  
在宅ホスピス医の内藤いづみさんも加わります。



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp  
ホームページ http://isezaitaku.com